あさぎり

KAWASAKI COLLEGE OF ALLIED HEALTH PROFESSIONS

川崎医療短期大学　広報誌

2008年　9月発行　No.62

放射線技術科病院実習（写真提供：二葉写真館）

特　集　**学生生活を支援する**

- 授業・実習風景⑨／事務部から
- セクハラ防止委員会／オープンキャンパス
- 教員の活動紹介⑫／先輩から後輩へ⑫
- 上海職工医学院短期研修団／キラリいい顔⑤
- 新任職員／表彰／川崎エコプロジェクト
- インフォメーション

特集

学生生活を支援する

学生生活支援には、大きく分けて二つの側面があります。一つは、設備面、健康面で配慮の行き届いた、よりよい学習環境を学生の皆さんに提供することです。もう一つは、学内においても社会においても気持ちのよい人間関係を築いていけるよう、皆さんの社会性を高めるための手伝いをすることです。

本学では開学以来、担任制度によってこの二つの学生生活支援の実をあげてきました。さらに現在、学生部が中心となって全学的支援に取り組んでおり、具体的な学生生活のサポートについて、月一回、学生生活委員会で熱いディスカッションを交わしています。

今回の特集では、学生支援の現状を、昨年具体化させた改善点と併せてまとめました。また、支援の受け手である学生の皆さんの声も集め、今後の支援を方向付けていきたいと思います。

今回話をしてくれた学生

看護科２年	福　優奈
看護科２年	矢田　智子
臨床検査科２年	髙橋　結香
臨床検査科２年	長岡亜紀子
臨床検査科３年	平田　直也
臨床検査科３年	山磨　達郎
放射線技術科２年	福留小百合
臨床工学科３年	淨徳　徹郎
介護福祉科１年	谷本　咲弥
介護福祉科２年	佐々木絵理
医療保育科２年	石原慎太郎
医療保育科２年	河田　祐平

学生と学生部長（名木田恵理子先生）との対談の様子

1 心身の健康を支える

■医務室

医務室には看護師の資格を持つ養護職員が常駐しています。現在の養護職員瀬戸和子先生は、川崎医科大学附属病院で看護師長を勤めたベテランです。

図１は昨年度医務室を訪れた学生の主訴を示しています。軽微なものは医務室で処置・助言しますが、疾患が予見される場合には病院を紹介しています。その際プライバシーには気をつけ、必要に応じて養護職員が付き添うなど、学生の状態には十分配慮しています。

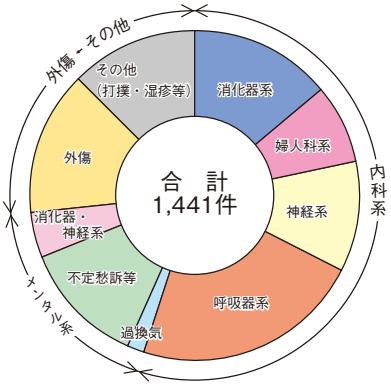


図１　平成19年度医務室利用状況

■学生相談室

本学では長年、担任が学生個人の生活状況を把握し、適切なアドバイスを与えてサポートしてきました。しかし、近年、より深い悩みを抱え、担任にも相談できずに孤立する学生も増えています。そこで、学生相談室を立ち上げ、学生の悩みに対応できる体制を整えています。学生相談室ではベテラン相談員の森喜美子先生が週三日、十三時から十八時まで相談に当たっています。しかし、本学のカリキュラム上、学生は授業の空き時間がほとんどなく、また上級学年になると実習に出るため、開室時間内の利用がむずかしいという問題が生じています。医務室との連携という面でも同じフロアに相談室を確保する必要があると考えています。

本音トーク

谷本　元看護師の先生なので、頼りがいがあります。友人が行ったときも病院を紹介してもらえて安心だったそうです。親切に話を聞いてくださるので相談もしやすいです。

石原　僕は一年生のとき、女子ばかりの雰囲気に慣れなくて大変だったことがありました。そんな時、フラッと医務室に行ってみたんです。そしたら先生が親身に話を聞いてくれて、気持ちがずいぶん楽になりました。瀬戸先生は僕たちの気持ちに配慮して話を聞いてくれるし、アドバイスもしてくれます。

髙橋　まず担任の先生に相談することが多くて、相談室はもっと問題が混みあったときに利用するでしょうね。

福　悩みがあったら友達に相談しています。大学生活に満足しているので、あんまり悩みもありません。でも、本当に困ったとき利用できる場があるというのは安心ですね。

■健康診断および予防接種

本学は医療系であり、有資格の教員が多いことから、学生の健康診断を一部、教職員の手によって実施しています。平成二十年三月と四月にも、看護科、臨床検査科を中心とする教職員の協力を得て、身長・体重・血圧測定と、検尿、レントゲン撮影を学内で実施しました。

予防接種についても教員引率のもと川崎医大附属病院で実施しています。これは臨床実習開始までに接種が義務付けられているからでもありますが、近年全国的に発生している麻疹、百日咳などの感染症対策としても有効です。

佐々木　学内での健康診断や附属病院を利用しての予防接種は助かります。さすが医療系だなと思います。

■AED設置（自動体外式除細動器）

AEDを事務室玄関廊下、体育館エレベータ横、学生寮舎監室前廊下へ設置しました。また対外試合に出るサークルからの要望で、貸し出しも始めました。

平田　部活動の緊急時にAEDが使用できるようお願いしたら、すぐに対応してくれました。さっそく先日の試合に持って行きました。

2 生活環境整備

■学生寮

本学学生寮は女子学生専用であり、経済的負担の軽減や安全性・利便性を提供するとともに、共同生活の体験により、豊かな人間性と自主的精神に富んだ人格形成の場として開学時から設置されています。毎年自宅通学以外の女子学生の約半数が入寮しています。

昨年、寮生活についての意見を聞くため、全五十六項目の質問と自由記述欄を設けたアンケートを実施しました（入寮生二百五十名中百七十二名が回答。回収率は68・8％）。その結果は寮生に開示し、またこの広報誌でも発表しました（広報誌六十号）。最も不満の多かった食事については、業者にもアンケート結果を示し、メニューの再検討と一部不評メニューの廃止、給茶機の増設、衛生管理の徹底、職員のマナー向上などの改善がなされています。そして、これを機に寮生の要望を反映させるために「意見箱」を食堂に設置しました。ここから朝食がパン食のときのコーヒーサービスも始まりました。

さらに、学生生活委員会の中に小委員会を作って、空き部屋の有効活用、自習室の開設、清掃体制の見直しなど、少しずつではありますが、改善に向けて努力しています。寮のLAN化はすぐには対応できない問題なので、とりあえず今年七月から五台のパソコンを置いた部屋を用意し自由に使えるようにしています。また、夏期休暇中に浴室の補修を行いました。

寮生の皆さんにはまだまだ不満なことが多いと思いますが、改善をしていくよう努力していますので、ご理解いただきたいと思います。

寮のパソコン自習室

長岡　ムシが多いのがいやですね。網戸に穴が開いていて夜に入ってくるんですよ。それに、風呂の設備、特にシャワーの故障が多いので困ります。また、門限が十時というのは不便です。打ち上げのときなど自分だけ早く切り上げて帰るのは残念だし、みんなにも悪いです。十二時くらいになればと思います。

でも、友達といるのは楽しいし、テスト期間は助け合うこともできて寮生活はいい点もいっぱいあります。食事は昨年に比べよくなりました。野菜や魚が増えて、新鮮なものが多くなった気がします。職員の方の対応もずいぶんていねいになりました。この調子で改善を続けていただきたいと思います。

矢田　なんと言っても近いのが一番です。大学とつながっている寮はめずらしいって友達も言っています。悩みがあっても友達に相談できるし、テストのときはお互い勉強を教えあうこともできます。

■福利厚生施設

軽食堂・売店は昼時間には混雑し、長い列ができることもあります。学生部ではメニューやサービスについて業者に改善を申し入れています。

福留　三年生が病院実習から帰ってくる月曜日と金曜日は売店に列ができて休憩時間が足りなくなります。品揃えや価格も不満ですね。

淨徳　食堂が狭くて混むのがいやですね。券売機が一台しかないこともあって、長蛇の列になります。昼休みが短いのでどうにかしてほしいですね。

■学内環境の整備

本学の建物は開学から三十五年が経過し、老朽化が目立つ箇所もありますが、日々のメンテナンスは随時行っています。また、学園施設課・用務員による整備・補修、整備係による清掃によって、比較的清潔感のある環境が保たれています。昨年度からは整備係が週一回各教室の清掃を行い、きれいになったと感謝されています。

また、不評だったトイレ下駄も廃止しました。引き続きトイレ、ロッカールーム等の整備改善に向けて取り組んでいこうと思っています。

淨徳　実は男子はほとんどがトイレ下駄をはいていませんでした。廃止されてトイレがスッキリしたという感じですね。

学生ホールが狭く、一部の学科が占有しているのが困ります。自習できるような部屋がほしいです。

河田　教室の窓を開けているとムシが入ってくるので困ります。網戸をつけて欲しいですね。また、喫煙所は今

の場所でないほうがいいと思います。通行する人の迷惑になっているようです。

■セキュリティについて

夕方以降の学外者の侵入を防止するため、平成十九年度には校舎二階玄関にホテル式ドアを設置しました。これによって、十八時以降は外から入ることができなくなり、人目に立ちにくい玄関の警備が強化されています。学生部では、引き続き、監視カメラの設置、寮玄関、コンピュータ室、ロッカールームなどへのカード式入室システムの導入を要望していくつもりです。

佐々木　セキュリティ面からでしょうが、十八時を過ぎると外から入れないのは不便です。寮や事務室玄関から入ればいいというものの、疲れているときなんか嫌ですね。実習とかで遅く帰ってくることもありますから。できればセキュリティは別な方法で確保してほしいです。

3 学友会活動のサポート

カリキュラムが密に組まれている中で、学生の皆さんは短い空き時間を利用して、部活動や同好会活動を行っています。

学友会主催の活動として、五月にはスポーツ大会、秋には川崎学園合同の学園祭、十二月にはクリスマスパーティが開かれます。学友会役員はこれらの行事に向けて、一生懸命準備をしています。学生部ではこれらの活動のためきめ細かい支援を心がけています。

学園祭では期間中にオープンキャンパスを同時開催しているため、学科紹介などのイベントは学生と教職員の共同作業になっています。

長岡　学友会の役員は大変だけど、楽しいこともいっぱいあります。夏のキャンプは楽しみの一つです。

河田　女子も楽しめる軟式野球サークルを立ち上げています。自分たちで運営しているのですが、楽しいですよ。

4 経済支援

毎年四月中旬に、全学生を対象に日本学生支援機構奨学金の説明会を開催しています。平成十九年度日本学生支援機構奨学金は、「第一種」（無利子）百七十四人、「第二種」（有利子）二百八十九人が利用しており、また川崎学園が貸与する看護学生奨学金の利用者は二十二人、地方自治体や財団法人等の奨学金等の利用者は九人でした。全体として約四割の学生がいずれかの奨学金制度を利用しています。

5 就職支援（就職専門委員会）

これまで学科単位で、学生一人ひとりを対象とした「就職相談」「就職先情報の提供」「就職模擬試験」など、丁寧な就職支援を行ってきましたが、昨年から全学的支援も始めました。

■本学所定の履歴書作成と販売

本学学生にとって使いやすい履歴書を作成し、売店に置いて販売しています。

■就職（面接）のためのマナー講座

昨年は九月と十月に全学科を対象として「就職のための実践マナー講座」を開催し、そのあと各学科で「実践講座」を延べ十二回開催しました。講師は、接遇のプロである川崎医療福祉大学医療秘書学科教員です。学生にとって有益であったばかりでなく聴講した教員にとっても学ぶところが多かったようです。今年度もすでに学科ごとにマナー講座を実施しています。

■履歴書作成のための文章指導

各学科一コマ（九十分）を使って本学の日本語担当教員が指導しています。

編入学など進学支援は教務委員会が中心となって進めており、日本語と英語の教員が個別指導を行っています。

6 学生の社会力向上をサポートする

谷本　他の大学に行った友人に聞くと、進路についてアドバイスを受けたくても、ほったらかしにされていると言っていました。その点、ここでは先生が親身に相談に乗ってくれるので心強いです。

山磨　就職は学科の先生を中心に、とてもよくアドバイスしてくれます。編入学支援システムも助かりました。でも、もっともっと充実させてほしいですね。

■学生指導

学生の生活態度の向上を目指して平成二十年度から半期ごとに「学生生活態度についての重点指導目標」を定めました。前半の重点目標は「挨拶をしよう」「靴のかかとを踏まない」「廊下・階段に座らない」の三点でした。うるさく言われていると思うかもしれませんが、皆さんの生活マナーの質を上げて、社会に高く評価される大人になってほしいという気持ちです。この取り組みが就職面接時や卒業後に成果となって現れることを信じて指導をしています。

髙橋　マナー指導について厳しいのは気になりません。当たり前のことを求められているだけですから。

矢田　これは大学に言われる前に学生一人ひとりが気をつけないといけないことですね。服装がだらしない人を見るとこんなので患者さんの前に立てるのかなと疑問に思います。もっと厳しくてもいいんじゃないですか。

淨徳　学生が先生に挨拶しないのを見ると僕はいやですね。言葉遣いについても同様です。敬語を使えない人やマナーが守れない人はこの大学にふさわしくないと思います。「学生は大学の顔」ですから、自覚を持つべきだと思います。

■担任制度

本学は開学以来、担任制度を核にして、学生の皆さんの指導および支援を行ってきました。担任は一クラスに一名または二名であり、原則的に入学から卒業まで変わりません。入学してから卒業するまで一人ひ

とりの状況を十分に把握して、修学相談ばかりでなく、精神的、経済的な悩みから就職進学問題に至るまで親身に対応しています。

また、定員の増加した看護科では今年度からチューター制を併用しています。学生五～六人に一名の教員がついて、きめ細かいサポートを行っています。

福留　担任の先生は私たちに対して厳しく口うるさいのですが、ご自分の時間を学生のために割いてくれているのがよくわかります。だから文句を言いながらもがんばっていこうという気持ちになりますね。全般的にうちの学科の先生は熱心で面倒見がよく、学生のことを考えてくれているんだなって思えます。

佐々木　担任の先生は毎日のように必要な連絡事項など知らせに来てくれますよ。とにかく身近にいてくれるので相談もしやすいし、そういう意味で学生相談室に頼らなくてもいいです。

矢田　他の大学の人の話を聞くと、うちの大学の先生はよく面倒をみてくれているんだということが分かります。担任とチューターが成績のことから生活まで親身になってくれます。先生との距離が近いですね。一人ひとりの名前を覚えてくれているのがうれしいです。

■教職員講習

学生指導に当たっては全教職員の意識を高めることが先決と考え、研修の場を設けています。平成十九年には「自閉傾向のある学生への対応」というテーマで、川崎医療福祉大学の佐々木正美教授による講習会を開きました。これには六十三名の教職員が参加して熱心に受講し、具体的な質疑応答がかわされました。今後も繰り返し研修会を開き、教職員の「支援力」を高める努力をしていきます。

7 学生生活満足度調査の結果から

本学では全教職員が学生の皆さんの生活が少しでも快適なものになるよう努力していますが、今回のインタビューでは厳しい意見も出ました。また、昨年初めて実施した「学生生活満足度調査」の結果（図2）からも学生支援のあり方を再検討しなければならないと感じています。

七十六項目の「学生生活満足度調査」で全学科的に評価が低かったのは、教育面において「語学教育」と「少人数教育への配慮」でした。特に、一般教育・基礎科目では、「自分のレベルに合った授業」や「理解しやすい授業」という点で不満があったようです。生活面では「事務職員の対応」や「学生食堂」「学生ホール」「ロッカールーム・トイレ」「サークルの部室」および「学生寮」の設備と、サークル活動について低い評価となっています。サークル活動については本学の教育体制もあって他大学のように活発に活動することは難しいかもしれません。一般教育科目の充実についてはさらに検討し、設備についても計画的に改善を進めるよう努力します。

満足度が高かった項目は、専門科目領域における教育・支援体制であり「学外実習の充実」「専門領域科目の充実」「新しい分野について学べる授業の多さ」「将来役に立つ授業の多さ」が高い評価を得ています。また、学科別の特徴を見ると、特に放射線技術科では「就職支援」「国家試験対策」の充実という項目で満足度が高く、「学内実習」および「病院などでの学外実習」も高く評価されていました。これに対して、医療保育科において「国家試験等の対策の充実」が低いのは、単位取得で国家資格を得られるので特に対策を必要としないという原因が考えられます。医療保育科では「就職支援の充実」の評価も低くなっていますが、実際は全員100％の就職を果たしています。学生の満足度は、卒業生の増加による就職情報の蓄積や教員側の配慮によって今後高くなるものと思います。

学生生活の満足度を高める最も大きな要素の一つに「友人関係」がありますが、全学科ともほぼ満足しているという結果が得られました。

結果全体から、学生の満足度は、生活面、教育面での支援体制に大きく影響されるということがうかがえます。さらに言えば、教職員の姿勢が何よりも重要な要素であるということです。

山磨　臨床の科目がもう少し整理されたらゆとりができると思います。また、ほとんどの先生が熱心で尊敬できます。

福留　学生生活についての細かいこと、例えば冷房（中央監視方式）の温度調整などどこに言っていけばいいのかわからないということがあります。事務部に行ってもきちんと対応してもらえないことがあって…。学生はそんなとき「もういいや」って思うんです。

「窓口」があれば助かります。不満も減るのではないかと思います。

淨徳　学生生活の不満は、カリキュラムが詰まっていて忙しいということが一番の原因になっているんじゃないかと思います。ゆとりがなかったですね。その点はぜひ改善していただきたいです。でも、僕自身は学生生活に満足しています。先生にも恵まれました。不満って言うけど、自分自身が学生生活についてどう考えるかということも「満足度」を高められるか決め手だと思います。

本学としてはこの結果を受けて、学生満足度を高めるために大学全体として生活支援に取り組む一方で、教育支援については学科単位で検討し改善していくよう進めています。そして、その進捗状況について、毎月の学生生活委員会で情報を共有することにしています。また学友会などとも連携して、教職員と学生が一体となって改善に向けた具体的な活動をしていきたいと思っています。

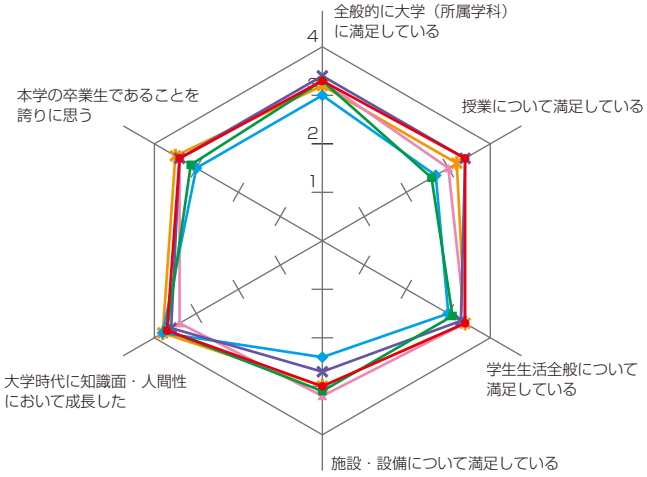
学生生活委員会の様子（熱い議論が飛び交います）

図2　平成19年度学生生活満足度調査結果（学科別評価）

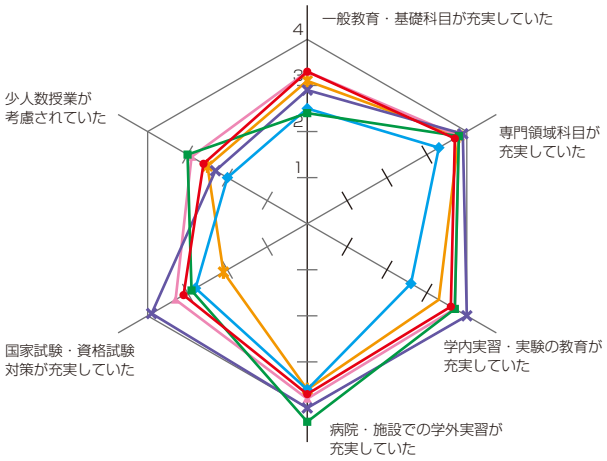
このアンケートは平成20年１月から３月にかけて卒業前の全学生を対象に実施しました。回答は無記名であり、マークシートの記入と自由記述の両方があります。マークシートでのアンケートは76の調査項目から成り、〔Ⅰ〕全体的な評価、〔Ⅱ〕教育体制に対する満足度、〔Ⅲ〕授業に対する満足度、〔Ⅳ〕学生生活の満足度、〔Ⅴ〕支援体制についての満足度、〔Ⅵ〕施設・設備に対する満足度、〔Ⅶ〕寮について、に大別されています。

ここでは、特に上記分類中５分類から６項目ずつ選んで、学科ごとの満足度を示しています。

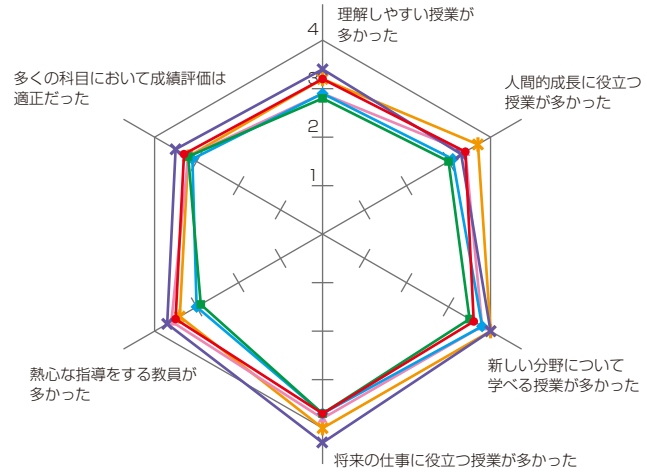
Ⅰ 全体評価



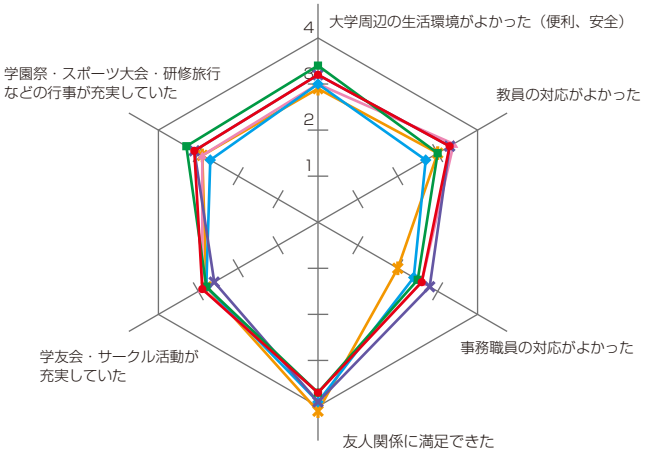
Ⅱ 教育体制について



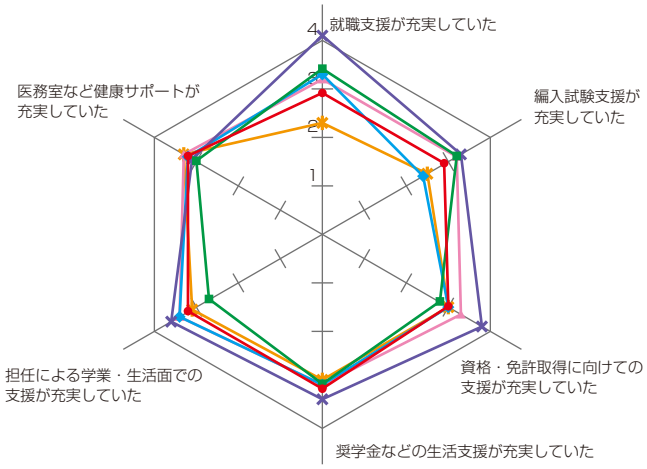
Ⅲ 授業（専門科目）について



Ⅳ 学生生活について



Ⅴ 支援体制について



学科別表示

- 看　護　科
- 臨床検査科
- 放射線技術科
- 臨床工学科
- 介護福祉科
- 医療保育科

学科の満足度調査（５段階評価）

5．強くそう思う
4．そう思う
3．普通
2．あまりそう思わない
1．全くそう思わない

授業・実習風景⑨

臨床検査科
生理機能検査学実習
（脳波検査）

臨床検査科
所司　睦文

脳波（Electroencephalogram：EEG）検査は病院や診療所で実施される臨床検査のひとつで、ヒトの大脳に百四十億あまり存在するという神経細胞群の電気的な活動を頭皮上から導出し、記録するものです。

脳波検査の学内実習は臨床検査科二年生を対象とした生理機能検査学実習Ⅱで開講されます。脳波検査実習は一グループ十名前後で四回実施します。第一～三回は電極装着・脳波記録・脳波判読などの各種トレーニングを実施し、最終回にそれらを網羅した脳波検査実技試験を実施しています。

脳波検査は、まず被験者（または患者）に脳波検査を説明し検査を受けてもらう合意を得るところからはじまります。次に、十／二十電極配置法によって頭部を均等に分割し、二十本近く脳波を記録するための銀－塩化銀皿電極とよばれるセンサを装着します。

電極をつけるための準備をしている様子

脳波電極を装着したところです

その後、被験者にベッドに横になってもらい、電極と脳波計本体を接続し、脳波検査を受けるに当たっての諸注意を行います。そして、いよいよ脳波記録を開始します。

脳波記録は基本的には被験者は安静・閉眼・覚醒の状態を維持してもらい、記録していきます。通常、この時、α波（アルファ波）とよばれる脳波が記録されます。この後、被験者に開眼を指示したり、閃光刺激を与えたり、深呼吸を行ってもらったりして、記録される脳波の変化を観察していきます。脳波検査の所要時間は電極装着と脳波記録時間を含めておよそ六十分といったところです。

記録開始

生理機能検査学実習における実技試験の項目は、心電図検査実習、脳波検査実習、末梢神経伝導検査実習、超音波検査実習および心肺蘇生法実習です。

このようにして川崎医療短期大学臨床検査科では卒業後、即戦力として働けるよう実習を積んでいます。

波形に異常がないか観察しながら検査していきます

患者様への説明もしっかり行います

事務部から

就活！応援しています

庶務課長
藤原 忠昭

各学科最終学年の皆さんにとって、就職活動の季節を迎えました。昨年度の本学卒業生の就職先は、病院、検査・検診センター、介護老人福祉施設、保育所、幼稚園などであり、求人件数は二千五百三十五件（うち県外二千四十八件）、六千七百九十二人（うち県外五千十五人）で、内定率も全体で99・7％でした。中でも、平成十七年度に新設した医療保育科が第一期生を送り出しましたが、就職内定率100％という好結果を残すことができました。このように好調な状況が続いており、本学にとっても皆さんにとっても誠に喜ばしい限りでありますが、皆さんはこのように恵まれた状況に甘んじるのではなく、努力を怠らず、真剣に就職活動に向き合って取り組んで欲しいと願っています。そのためにも、それぞれが医療・福祉技術専門職として、心豊かで実力のある人材となるため、専門分野の知識・技術の実力はもちろんのこと、コミュニケーション能力を養い、マナーを身につけ、自信をもってたくましく、果敢に生きていける人間力を備えておくことが必要であります。

本学は、各学科とも就職における必須条件は国家資格取得です。したがって、就職指導を一律に実施することは困難であり、各学科の独自性を活かすことが、より大きな効果をもたらすとの判断から他大学にみられるような就職指導室は設けず、学科単位で就職担当教員や担任が主体となって、入学時から学生の皆さんの希望・適性を考えながら求人情報の提供や助言等のきめ細かな指導を行っています。また、就職広報誌の発送や求人受付、文部科学省、厚生労働省等の関係諸機関からの調査及び報告等の業務は事務部庶務課が担当しています。

このように、皆さんに対する就職支援体制は整備されています。学生の皆さんの就職活動を事務部でも今まで以上に応援・サポートしていきますので、全力投球で臨んでください。

セクハラ実態調査結果とセクハラ防止委員会の取り組み

セクシュアル・ハラスメント防止委員会委員長　山根 正信

セクシュアル・ハラスメント（以下セクハラ）防止委員会では、昨年末に本学の全学生（千百三十一名）を対象に、セクハラ実態調査をアンケート形式で行いました。今回は、その結果の一部をお知らせします。

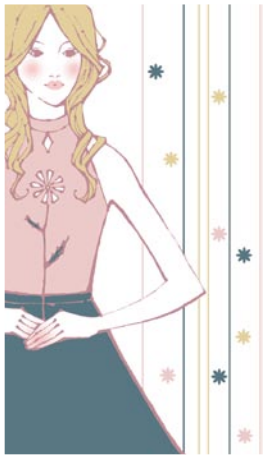
アンケート回収率は50・4％（五百七十名）でした。質問項目は、「セクハラ被害を受けた経験があるかどうか」「どのような行為をセクハラと感じるか」「セクハラをなくすにはどのようにすればいいか」などです。

回答者のうち79・1％（四百五十一名）がセクハラについて知っていると答えました。セクハラを受けた経験については、十三項目に分けて詳しく質問した結果、延べ人数で三百六十四名がセクハラを受けたと回答し、アルバイト先など本学以外での経験がほとんどでした。具体的には、「服装や髪形、女（男）らしくしなさいなど性差別にあたる注意を受けた」、「体を触られた」「強引なデートの誘いを受けた」などでした。

本学は医療系の短大であり、実習先などへの配慮のため、服装や髪形および態度などを注意することもあり、また、講義科目によっては性的な内容が含まれることもあります。本学の教職員のこのような状況での指導・教育の言動が、セクハラとの誤解を招いていたケースもありました。このことについては今後、細心の注意を払うようにしていきたいと思います。

昨今は「被害者がセクハラと感じたら、セクハラになる」というのが定説になっています。教職員をはじめ、すべての人がセクハラのない快適な社会環境を作らなくてはならないとの意識を持ってほしいと思います。セクハラ防止委員会では、そのような環境づくりに向けて、啓蒙活動を行っています。具体的には、セクハラ啓蒙ビデオの貸し出し、セクハラに関する講演会などです。今年度は教職員を対象にしたアンケート調査も実施する予定です。

大学以外でセクハラ行為を受けた場合でも、一人で悩まないで、セクハラ相談室や担任に相談してください。



第３回 オープンキャンパス 開催

平成20年7月27日

全体会の様子

募集要項を念入りに読む参加者

介護福祉科

在学生も一緒に調理実習

医療保育科

在学生による模擬保育を披露

放射線技術科

病院見学（放射線治療室）

臨床検査科

生理機能検査（在学生による心臓超音波の説明）

看護科

在学生と参加者との懇談

七月二十七日(日)、『夏休みの一日があなたの未来を変える！』というテーマで平成二十年度第三回オープンキャンパスが開催されました。

今回は夏休みの日曜日、十時から十五時までの開催で、本学の概要説明や学科紹介、体験実習等に加えて、平成二十年度入試開設講座や学食体験なども織り交ぜて実施されました。日差しの照りつける暑い一日でありましたが、約四百名の参加者がありました。

『夏休みの一日があなたの未来を変える！』

- 平成20年度入試問題解説講座２
- 【国語（推薦）、英語・数学（推薦・一般前期）】
- 学科紹介、模擬講義・体験実習、在学生との懇談
- 学食体験
- 学内施設・学生寮見学
- 附属病院見学ツアー（中央放射線部、中央検査部など）
- 進学等なんでも相談コーナー
- 大学紹介DVD・医療福祉教養講座上映

教員の活動紹介⑫

教育の成果と就職の実績

臨床工学科 軸屋 和明

臨床工学科における教育の成果を示す評価尺度として、第二種ＭＥ技術実力検定試験と臨床工学技士国家試験があります。

前者の試験は「ＭＥ機器・システムの安全管理を中心とした医用生体工学に関する知識を持ち、適切な指導者のもとで、それを実際に応用しうる資質を検定する」ものであり、国家試験に先立って実施される資格試験であります。三年次の九月に実施される試験に臨み、国家試験の勉強を兼ねるとともに、修学の意欲の持続と講義・実習で学んだ知識の整理・集約を行っています。最近の合格率を見てみると、平成十八年度は87％（全国平均30％）、平成十九年度は90％（全国平均33％）であり、かなり高い水準を維持しています。

一方、三年間の教育の集大成である後者の国家試験は就職に直結する資格試験で、その資格取得は学生にとって必要不可欠であります。平成十八年度の合格率は100％（全国平均85％）、平成十九年度は90％（全国平均83％）で、期待に応えた結果となっています。不合格となった学生に対しては、次年度（卒業後）の再受験に向けた環境づくりとして、大学図書館の利用許可、模擬試験問題の配布、採点、評価、個別指導などの便宜を図っています。

就職の実績は国家試験と同様に重要でありますが、臨床工学科一期生の就職活動が始まって（平成二年）以来、就職状況は順調に良くなっています。臨床工学科では主として病院と医用工学関連企業から求人を頂いており、平成十八年度の求人施設数は三百六十九件、平成十九年度の求人施設数は四百四十五件でありました。この数は学生定員五十名に対しては極めて恵まれた件数であります。このような状況の下で卒業生は全員内定を取り付けますが、私共専任教員は就職活動がより円滑に進むようにと、二年次の秋には保護者を交えての就職進路説明会を開催し、三年次には個別就職指導、履歴書の書き方指導、面接の受け方指導などを適宜実施し、この成果を支えています。

社会に巣立とうとしている18期生（筆者の自宅において）

先輩から後輩へ⑫

「子どもが好き」という気持ちを

岡山市立浜保育園 大塚 香里（医療保育科 一期生）

私は、平成二十年三月に医療保育科を卒業し、現在岡山市立浜保育園に保育士として勤務しています。仕事内容は、簡単に言うと、朝から夕方まで子どもを預かるということです。今は、三歳児の担任をしています。毎日朝から夕方まで、子どもたちと遊んでいます。しかし、ただ遊ぶのではなく、遊びの中で子どもたちにルールを教え、また、生活習慣を身につけることができるよう様々な工夫をしながら保育をしています。

どんなお話かな？

生活習慣を身につけさせるためには、年齢にあった発達を促すことができるように声掛けや配慮が大切です。そのため、子どもをよく観察し、特性を捉えることが大切な仕事の一つだと思います。

大変なことは、子どもたちをひきつけることができるような遊びや絵本などを用意することです。そのような遊びや絵本を見つけ、子どもに見せたときの子どもたちの笑顔を見ると、その大変さも一気に忘れてしまいます。頑張ってよかったと思います。どんなに日々の保育で疲れていても、毎日「大塚先生」と名前を呼んでくれると、それだけでうれしくなります。

また、子どもの叱り方も大切だと思います。信頼関係を築くことができていないと、叱ることはできないと思います。そして、いくら信頼関係ができていても頭ごなしに叱ると、信頼関係は崩れてしまうと思います。だから、子ども一人ひとりの個性にあった叱り方、対応の仕方を見つけていかないといけません。その方法を見つけることが、今自分にとって一番の課題だと思います。

この仕事は、決して楽とはいえません。大変なことがたくさんあります。しかし、その分やりがいがたくさんあります。大変なことよりも、うれしいこと・楽しいことのほうが多いです。「子どもが好き」だけではできないけれど、なにより「子どもが好き」でないとできません。後輩の方には「子どもが好き」という気持ちを大切にして保育士をめざしてもらいたいと思います。

いただきます！

上海職工医学院管理事務職員短期研修団受入れ

一九七八年以来上海市衛生局、上海中医薬大学と川崎学園、上海職工医学院と川崎医療短期大学の友好協定が順次結ばれ、長年にわたり友好交流を深め現在に至っています。

本学と上海職工医学院との交流は、一九八七年十月「日本国川崎医療短期大学と中国上海職工医学院との友好大学提携の協定」の調印式が行われたことに始まります。それにより一九九六年から、上海職工医学院の新進教員が、毎年二人、研究生として本学で一年間研修をすることとなり、これまで二十人が研修を終えています。さらに、二〇〇〇年四月から、上海職工医学院傘下の上海市衛生学校卒業生の本学看護科への留学を引き受けることとなり、毎年二人の卒業生が来日しています。これまでに十三人が看護科を卒業して帰国し、現在六人が在学中です。また、協定に、「上海職工医学院は、本学の教員・学生が休暇中の上海訪問旅行に便宜を提供する」という項目が加えられたことにより、一九九九年七月に、第一回の本学看護科学生・教員による上海訪問が実施されました。訪問団は熱烈な歓迎を受け、教師・学生との交歓、諸施設の見学、観光などを通じて両校の友誼交流に大きな成果を挙げており、現在までに九回の訪問団（延べ百十一人）を送っています。

これらに加えて新たに二〇〇八年から隔年で上海職工医学院管理事務職員の短期研修団を川崎学園各施設で受入れることになりました。これにより今年、同学院管理事務職員（五名）の短期研修団を五月十四日（水）から一ヵ月間受入れることになりました。この研修の目的は、上海職工医学院の主な管理事務職員が川崎学園の進んだ事務管理システムを学び、視野を広げ、新知識を吸収することにより、管理事務職としての総合的な素質を高めることであります。

研修団は、五月十四日（水）に来日し、五月十五日（木）から二十三日（金）まで学園事務局、五月二十六日（月）から六月三日（火）まで川崎医療福祉大学、六月四日（水）から六日（金）まで川崎医科大学、六月九日（月）に附属病院で、それぞれ研修を重ね、最後に、六月十日（火）から十二日（木）までの三日間は短大で事務組織及び事務部の業務内容を中心に研修を積み、一ヵ月にわたる研修を無事終えました。

研修団一行は六月十四日（土）に大きな研修成果を土産に岡山空港から上海へ帰国されました。

〔研修団氏名・役職〕

張士可（顧問）　上海市衛生局教務調査研究員
張　敏（団長）　上海職工医学院学生部長
崔　耕　上海職工医学院弁公室副主任
洪寅峰　上海職工医学院教務課副主任（兼通訳）
解暁峰　上海職工医学院情報センター主任補佐

キラリ いい顔 5

学園祭実行委員長
放射線技術科二年
森下 愛子さん

川崎学園の一大イベント
川崎学園祭に向けて 奮闘中

今年の川崎学園祭は、十月十一日（土）から二日間開催されます。学園祭のテーマとしていくつか候補が挙がりましたが、今年度は「Harmony～響きあう心～」が選ばれました。川崎医科大学・川崎医療福祉大学・川崎リハビリテーション学院・川崎医療短期大学の四校がそれぞれに個性を出し合いながらも一つに調和すること（Harmony）によって、学園祭を盛り上げたい。そんな願いが込められています。

わたしたち学園祭実行委員の活動は、今年の一月からすでに始まっています。学園祭実行委員のメンバーは、昨年度の学園祭で各パートのリーダーを務めた信頼できる仲間十五名と、意欲に満ちた十名の後輩によって構成されています。これまでの実績と昨年度の反省点を今回の学園祭に生かすため、前実行委員長（看護科 橋本武憲先輩）を交えた引継ぎの会合をこれまで何度も開きました。また、実行委員のメンバーは女性が多いため、力仕事では昨年度より劣りますが、女性らしい気配りをしながら、事前の準備を大切にして、これまで以上の学園祭の成功を目指しています。

仮装行列や模擬店などを、部、サークル、クラス単位で早い時期から募集した結果、今年も多くの参加者がイベント会場を賑わしてくれる予定です。また、今年度はじめて、四校合同による周辺地域の清掃活動を計画しています。これには地域の方々への感謝の気持ちが込められています。さらに、この活動を通して学園祭を知っていただき来場していただくことで、より地域に開かれた学園祭を目指しています。さらに今年度は、校門にエアーアーチも設置します。これは他の三校と多少距離が離れていることにより、なかなか足を運んでもらいにくい現状を打開するためです。以上のように、これまで以上のアピールで少しでも多くの学生や、一般の方々、高校生が来場してくださるよう工夫を凝らしています。

年に一度の学園祭です。学園祭に関わった全員が「参加してよかった！」と感じられるように、また一人ひとりの心に残る学園祭にするように、実行委員のメンバーをはじめ、学生のみなさんの協力をよろしくお願いします。

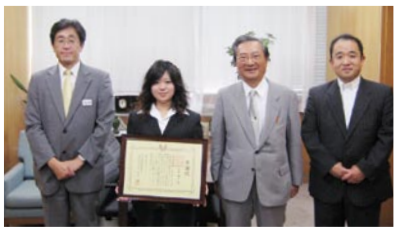
学生表彰

JRから表彰！

医療保育科２年
松本 典子さん

平成 20 年 5 月 26 日、山陽本線中庄駅下りホームにおいて線路内に立ち入った方に気づき、松本典子さん（医療保育科 2 年）は直ちに列車の停止ボタンを押しました。これによって、列車は手前で急停止し、立ち入った方の人命を救うとともに、列車内の方々の安全を確保し、鉄道全体の快適な輸送に多大な貢献をしました。その功績に対して、6 月 13 日、本学において、JR 西日本から松本典子さんに感謝状が手渡されました。

松本さんは「中庄駅で実施された『非常ボタン告知キャンペーン』に参加体験してから、ホーム上の非常ボタンがどこにあるか意識して見ていました。線路に落ちた方を助けたいという思いで一歩踏み出しましたが、線路に入ってはいけないことを思い出し、ホーム上にある非常ボタンを躊躇することなく押せました。ボタンを押した後は足が震えました」とその時の緊迫感を思い出しながら語ってくれました。



写真左から　JR 西日本谷口雅信安全推進室長、松本典子さん、梶谷主任、中原副主任

第34回　川崎学園祭

10月11日（土）・12日（日）の２日間、「Harmony ～響きあう心～」という統一テーマのもと、第34回川崎学園祭が大々的に開催されます。また、学園祭と並行して11日（土）には第３回公開講座、11日（土）・12日（日）の両日には第５回オープンキャンパスが開催されます。皆さん奮って参加してください。

※Harmonyという言葉は、「調和」という意味を持っています。曲で例えると一つひとつの音が重なり合うことで、美しい音色を奏でることができます。逆に言えば一つでも音が欠けると、美しい音色は奏でることができなくなります。
私たちの周りでも同じことが言えるのではないでしょうか。私たちは、家族や友達という社会の一員として、誰一人欠かすことのできないかけがえのない存在です。
そこで、私たち一人ひとり欠けることなく、それぞれの個性を出し合って、一つのものを作ることの大切さを改めて感じてほしいという願いを込めて、このテーマを選びました。

岡山県知事・山陽新聞社会事業団理事長から表彰される

看護科
中西啓子教授

平成 20 年 5 月 14 日、本学看護科教授の中西啓子先生が、医療事業功労者として岡山県知事および山陽新聞社会事業団理事長から表彰されました。

この受賞は、先生の長年の看護協会における看護活動・看護教育活動と地域医療への貢献が高く評価されたものです。なお、表彰式は、岡山県および岡山県看護協会主催で平成20年度看護大会とあわせ、岡山市の三木記念ホールにおいて開かれました。

新任職員紹介

教務課 事務職員
弘田　紀子

はじめまして。6月16日から事務部教務課で勤務しています。初めてのことばかりで皆様にはいろいろとご迷惑をお掛けしておりますが、少しでも早く仕事が覚えられるよう頑張りますので、どうぞよろしくお願いいたします。

地球温暖化対策ワーキンググループだより NO.2

川崎エコプロジェクト

ちょっとのガマンで省エネ効果

六月二十八日付の朝日新聞の紙面に、世界の最高峰から〝地球の温暖化による氷河の融解〟を強く訴え続けているアルピニストの野口健さんが、次のようなことを紹介していました。

―山岳民族のシェルパがこう言いました。「世界一高いエベレストは人間に例えると頭。エベレストが熱を持つということは体全体がだるくなること。地球全体の異変なんだよ」と―

とてもうまく地球の温暖化を表現していますね。このような症状を示している地球を救うため、そして人間の命をまもるためにも、さっそく本学では次の四つのアクションプランの実施を決定いたしました。

1 クールビズの推奨

室温上限の摂氏二十八度の中でも、涼しく効果的に勉学や業務ができる軽装の着用を推奨します。実施期間は、七月十七日（木）から九月三十日（火）までです。

2 お盆期間中の全館冷房停止

省エネの観点から、八月十三日（水）から八月十五日（金）までのお盆の期間中、全館の冷房を停止しました。教職員には、可能な限り一斉休暇をとることを勧めました。

3 ゴミ処理の適正化

「わかりやすいゴミ分別・処理方法のマニュアル」を作成・配布し、このマニュアルに沿った適正なゴミの分別・処理を実施します。

4 地球温暖化についての広報活動

「若きいのち」の紙面を借りて、地球温暖化のキャンペーンを継続的に実施します。

私たち一人ひとりができる温暖化防止への貢献がほんのちょっぴりであっても、それが積み重なることによって、エベレストの熱が下がることを期待したいものですね。（副学長 山口恒夫）

学生もネクタイをはずしてクールビース（クールビズ？）

主要行事（10月～12月）

10月

1日　授業開始
2日　AO入試合格発表
10日　全学科午後休講
11日　学園祭（～12日）
第３回公開講座
第５回オープンキャンパス（～12日）
18日　特別入試
21日　臨床工学科３年医療機器メーカー実習（～23日）
24日　特別入試合格発表
28日　放射線技術科３年第２回実力試験

11月

8日　推薦入試
10日　介護福祉科２年第３段階実習（～12月6日）
11日　臨床検査科１・２年学外研修
14日　推薦入試合格発表
17日　看護科２年基礎看護学実習Ⅱ（～12月13日）
29日　放射線技術科３年卒業研究発表会

12月

1日　医療保育科保育実習Ⅱ・Ⅲ（～11日）
12日　第36回医療福祉教養講座
13日　臨床工学科３年卒業研究発表会
17日　放射線技術科３年第１回卒業試験
19日　臨床検査科研究発表会
24日　冬季休業

平成21年度　入試日程

学科	AO入試	特別入試（社会人枠を含む）			推薦入試・公募		一般入試前期		一般入試後期 A（センター試験利用）		B		面接（ABとも実施）・調査書
看護科	調査書 1次面接 2次面接 課題	小論文	自己推薦書	面接・調査書	小テスト「国語総合」「数学Ⅰ」「英語Ⅰ」から1科目選択	面接・調査書	必須「国語総合・現代文」 選択「英語Ⅰ・Ⅱ」「数学Ⅰ」「物理Ⅰ」「化学Ⅰ」「生物Ⅰ」から1科目	面接・調査書	必須「国語」	選択「物理Ⅰ」「化学Ⅰ」「生物Ⅰ」から1科目利用 ※理科を2科目受験している場合は点数の高い科目を利用する。	小論文	面接（ABとも実施）・調査書	
臨床検査科	—						看護科に同じ		必須「国語」		—		
放射線技術科	—						必須「数学Ⅰ・A」 選択「英語Ⅰ・Ⅱ」「物理Ⅰ」「化学Ⅰ」「生物Ⅰ」から1科目		必須「数学Ⅰ・A」		小論文		
介護福祉科	調査書 1次面接 2次面接 課題						選択「国語総合・現代文」「数学Ⅰ」「英語Ⅰ・Ⅱ」「物理Ⅰ」「化学Ⅰ」「生物Ⅰ」から2科目		必須「国語」				
医療保育科							看護科に同じ		必須「国語」				
試験日	9/27（土）	10/18（土）			11/8（土）		1/30（金）		3/13（金）				
出願期間［消印有効］	9/8（月）～20（土）	9/29（月）～10/11（土）			10/20（月）～11/1（土）		1/5（月）～23（金）		2/23（月）～3/7（土）				
合格発表	10/2(木)午後5時	10/24(金)午前9時			11/14(金)午前9時		2/6(金)午前9時		3/17（火）午後5時				

平成20年

第3回公開講座

講座名

メタボリックシンドローム
～画像で診るあなたの健康～

講演及び体験学習

講　師
今城　吉成（本学放射線技術科教授）
友光　達志（本学放射線技術科准教授）
林　　明子（本学放射線技術科講師）

内　容
動脈硬化性疾患の危険性を高めるメタボリックシンドロームについて、MRI・CT・超音波などの医用画像を用い、生体インピーダンスを用いた内臓脂肪量の計測法を含めて解説します。また、超音波装置も体験していただけます。

日　時
10月11日(土)**10:00～11:30**

会　場
川崎医療短期大学 体育館 **102号教室**
入場無料（一般の方の参加をお待ちしています）

◆申込み・お問い合わせ先◆
〒701-0194
岡山県倉敷市松島316
川崎医療短期大学　公開講座係
TEL：086－464－1032
FAX：086－463－4339
koukai@jc.kawasaki-m.ac.jp

編集後記

教育に欠かせないのは学生と教員の対話であり、その対話を通して、学生も教員も相互に人格が形成されていく――川崎医療短期大学は、そんな教育の真髄を大切にしながら、学生の支援をしています。今回の特集では、そのような学生支援の現状について取り上げました。本学では、心身の健康を支える生活支援や学習環境を提供していくことはもちろんのこと、学生の皆さんの社会性を高めるような支援も行っていることをご紹介いたしました。ただ、学生の意見にもありますが、教員がよかれと考えて行っていることと、学生の要求がすれ違っている部分も少し見え隠れしており、それは真摯に受け止めるべきであろうと思います。そして、学生と教員との対話を通して、人としての深みが形成され、さらに強い信頼関係が生まれていく、そんな大学であればと願っています。

ところで、二〇〇八年の夏といえば、北京オリンピックの熱き闘いが話題にのぼり、注目を集めました。日本人の活躍もさることながら、世界新記録も数多く出て、人間の身体能力のすごさとそれらを鍛錬していくことの難しさを改めて感じました。多くのアスリート達が日々鍛錬を重ね、進化しています。――自分は何をやっているのだろうとふと思いを寄せた夏でもありました。

熱き闘いをくり広げたアスリート達と同様、この広報誌は、多くの方のご協力とご支援を受け、さらに進化を続けたいと思っています。今後ともよろしくお願いいたします。

（近末久美子）

川崎医療短期大学広報誌「若きいのち」(62号)

平成20年9月発行

編集発行：広報誌編集委員会
名木田恵理子(一般教養・委員長)
藤原忠昭(庶務課・副委員長)
橋本美香(一般教養)
影本妙子(看護科)
近末久美子(臨床検査科)
天野貴司(放射線技術科)
立花博之(臨床工学科)
河邉聡子(介護福祉科)
中井　靖(医療保育科)
重政有里(庶務課・書記)

写真協力：二葉写真館
印　　刷：友野印刷株式会社
皆様からのご意見・ご要望をお待ちしております。

〒701-0194
倉敷市松島316
川崎医療短期大学 広報誌編集委員会
電話：086-464-1032(庶務課)
Eメール：kouhou@jc.kawasaki-m.ac.jp
ホームページ
http://www.kawasaki-m.ac.jp/jc/

既刊の「若きいのち」は、本学ホームページでご覧いただけます。